

【追加訂正】

2019年度第4四半期分において、グレードG I 処置件数に誤りがあり、以下のとおり修正しました。

修正箇所：添付資料－1 2019年度第4四半期分 グレードG I 処置件数

：添付資料－2 2019年度第4四半期内訳の2019年度分 グレードG I 処置件数

修正内容：2019年度第4四半期報作成時点では、修正箇所のそれぞれに処置未完了が1件あったもので運用上システムでは処置完了となっており、件数の算出時に処置完了と扱ったもので、当該箇所を正しく「処置未完了」へ修正したもの

修正日：2020年11月20日

また、本件については、2020年8月18日のパフォーマンス向上会議で審査し、「当社ホームページに公表している不適合の処置状況内訳件数の誤りについて」として、掲載いたしました。

【既報】**【訂正】**

2018年度のグレードG I 処置件数に誤りがあり、以下のとおり修正しました。

修正箇所：添付資料－2 2019年度第4四半期内訳の2018年度 グレードG I 処置件数

修正内容：2019年度第4四半期報作成時点では、処置未完了が1件あったもので運用上システムでは処置完了となっており、件数の算出時に処置完了と扱ったもので、当該箇所を正しく「処置未完了」へ修正したもの

修正日：2020年8月19日

また、本件については、2020年8月18日のパフォーマンス向上会議で審査し、「当社ホームページに公表している不適合の処置状況内訳件数の誤りについて」として、掲載いたしました。

福島第一原子力発電所における不適合発生・処理状況について
(2019年度第4四半期)

2020年 5月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

○2020年1月1日～2020年3月31日の間にパフォーマンス向上会議で審議された「不適合」は176件ありました。そのうち、処置が完了した不適合件数は69件※です。

○2017年8月1日～2019年12月31日の間にパフォーマンス向上会議で審議された「不適合」は1481件ありました。そのうち、処置が完了した不適合件数は1281件※です。

※2020年3月31日現在

○不適合の発生及び処置状況の詳細については、添付資料参照

・添付資料－1

「福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2019年度第4四半期分
(2020年1月1日～2020年3月31日)」

・添付資料－2

「福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 ホームページ掲載以降の過去分
2017年度分(2017年8月1日～2018年3月31日)、
2018年度分(2018年4月1日～2019年3月31日)、
2019年度分(2019年4月1日～2019年12月31日)」

○パフォーマンス向上会議において審議された全件名については、「不適合の公表区分」に応じて、プレス発表または当所ホームページ上において全数公表しております。

・添付資料－3 (不適合管理グレード I に関わる件名を抜粋)

「2019年度第4四半期不適合詳細(委員会確認日:2020年1月1日～2020年3月31日まで)」

<原子力発電所における不適合の是正管理>

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の施設定期検査や安全確保設備等の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。

その中で、「不適合 *」が発見された場合には、「不適合管理及び是正処置・予防処置基本マニュアル」に基づき、必要な是正処置等を講ずることとしております。

*不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。

不適合管理グレード分け(パフォーマンス向上会議にて決定)

- GⅠ : 是正処置^{※1}・予防処置^{※2}を確実に実施すべき重要なことから
- GⅡ : 是正処置^{※1}を確実に実施すべきことから
- GⅢ : 修正処置^{※3}などを伴うことから
- 対象外 : 消耗品の交換等のことから

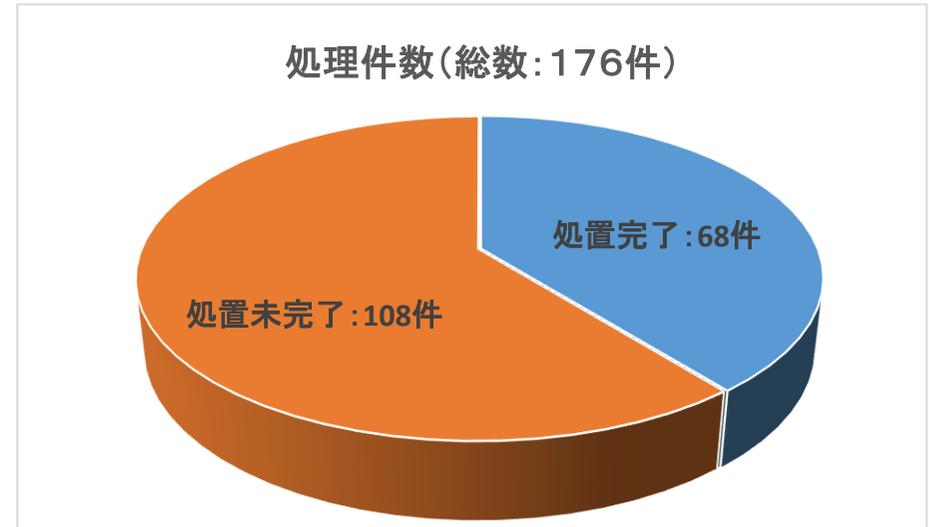
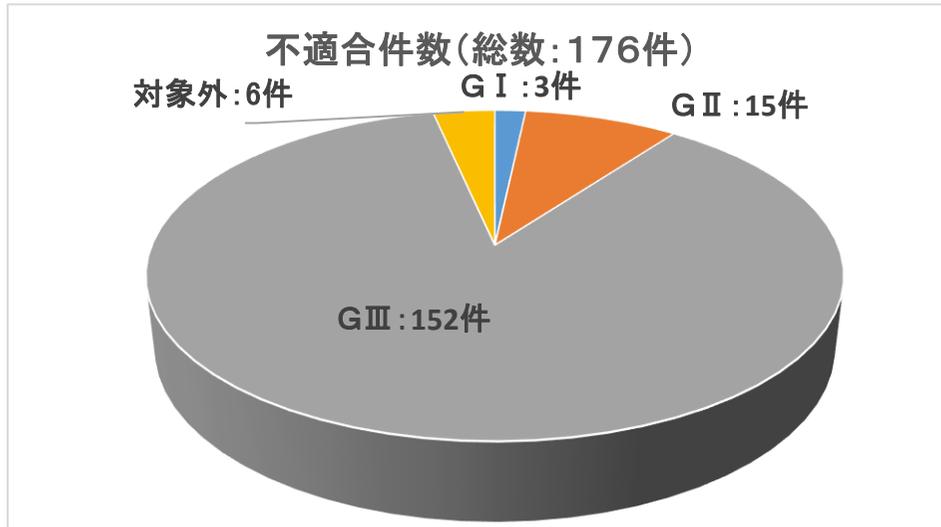
※1 是正処置: 不適合の原因を除去するための処置(=再発防止対策)

※2 予防処置: 是正処置を他発電所へ展開する処置(=水平展開)

※3 修正処置: 当該不適合を除去するための処置(=修理、修正)

以上

福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2019年度第4四半期分
(2020年1月1日～2020年3月31日)

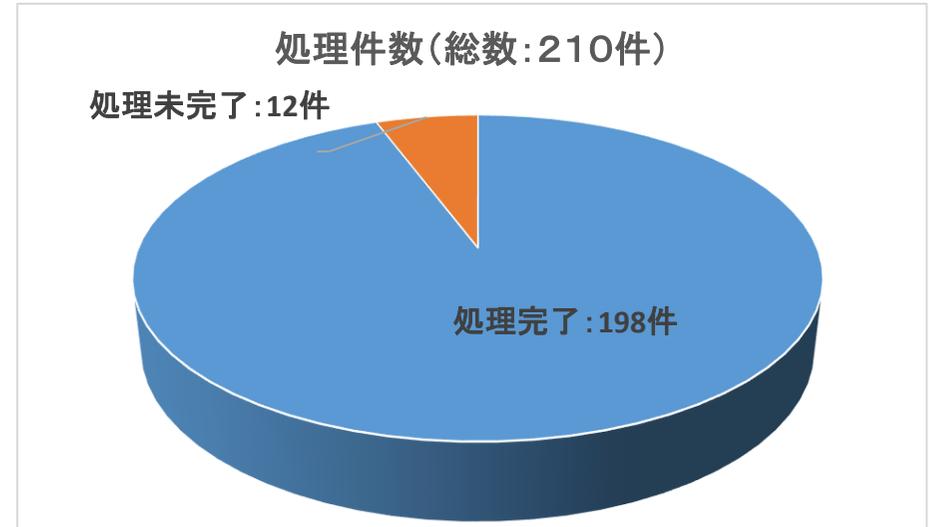
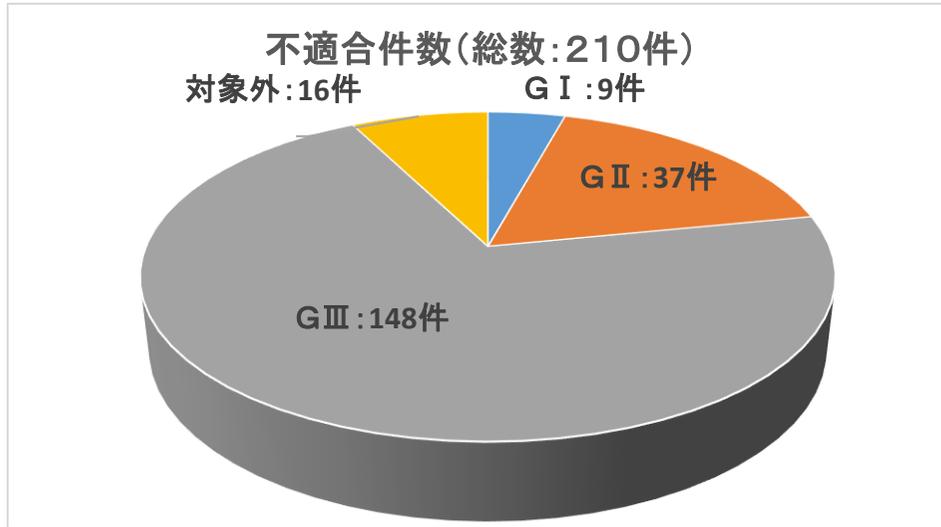


グレード	不適合件数
G I	3件
G II	15件
G III	152件
対象外	6件
総計	176件

グレード	処置完了		処置未完了	
	正	誤	正	誤
G I	0件	1件	3件	2件
G II	2件		13件	
G III	60件		92件	
対象外	6件		0件	
総計	68件	69件	108件	107件

修正日：2020年11月20日

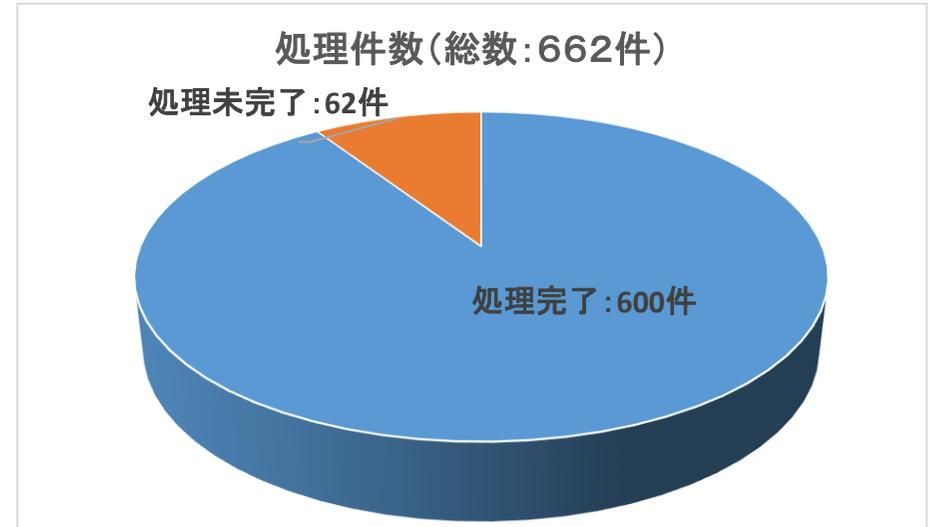
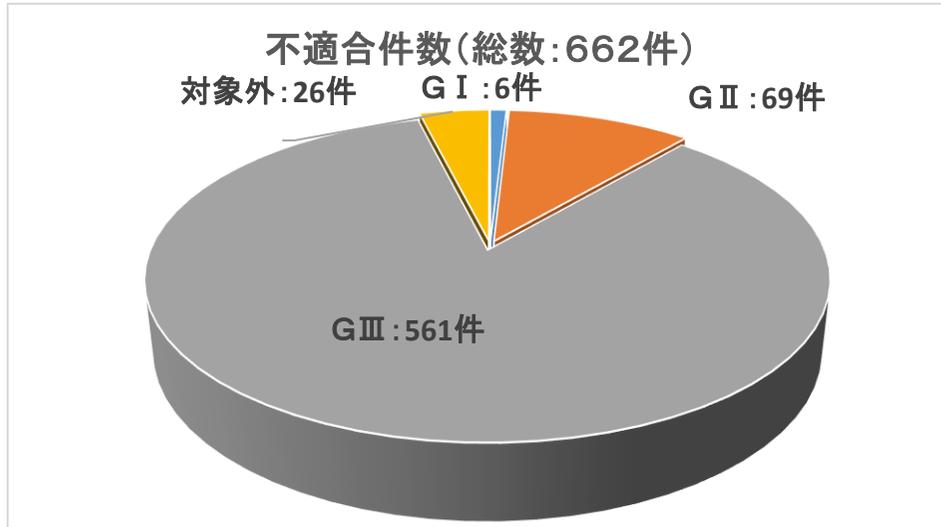
福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2017年度分
 (2017年8月1日～2018年3月31日)



グレード	不適合件数
G I	9件
G II	37件
G III	148件
対象外	16件
総計	210件

グレード	処置完了	処置未完了
G I	9件	0件
G II	35件	2件
G III	138件	10件
対象外	16件	0件
総計	198件	12件

福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2018年度分
(2018年4月1日～2019年3月31日)

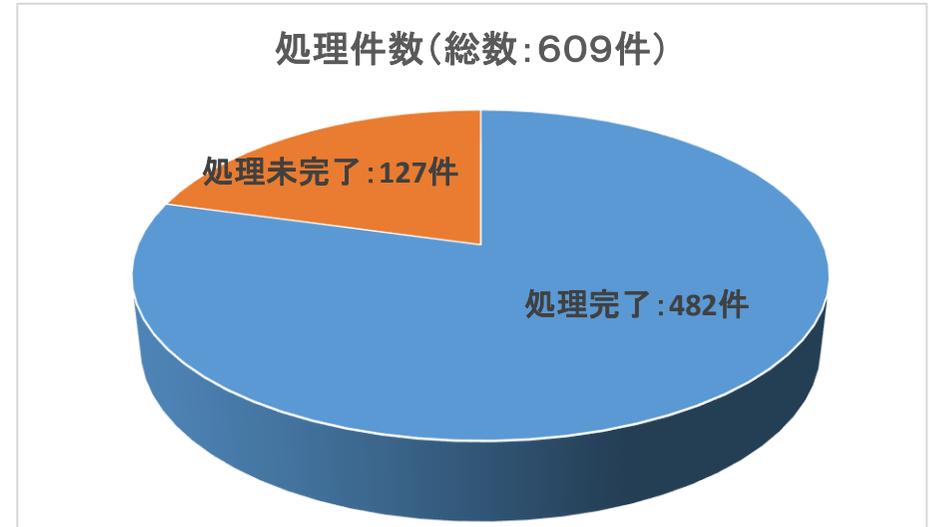
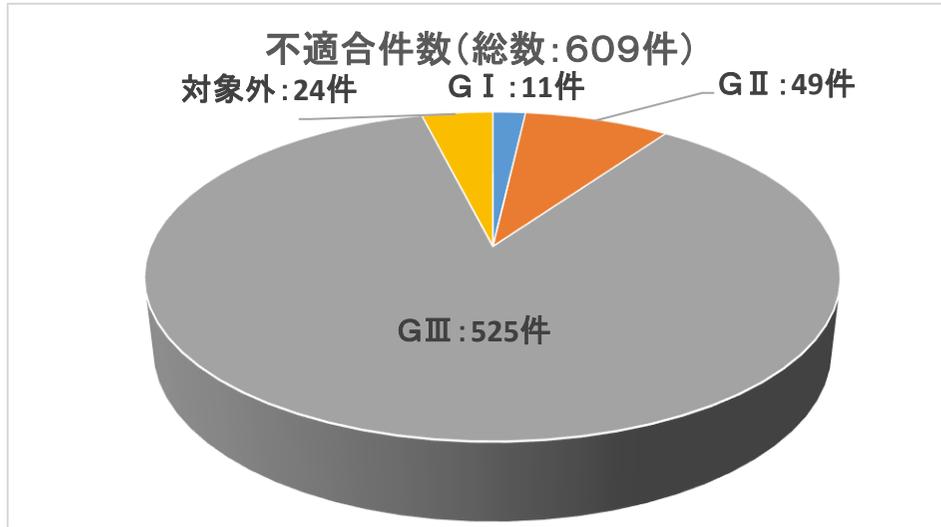


グレード	不適合件数
G I	6件
G II	69件
G III	561件
対象外	26件
総計	662件

グレード	処置完了		処置未完了	
	正	誤	正	誤
G I	5件	6件	1件	0件
G II	63件		6件	
G III	505件		56件	
対象外	26件		0件	
総計	599件	600件	63件	62件

修正日:2020年8月19日

福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2019年度分
(2019年4月1日～2019年12月31日)



グレード	不適合件数
G I	11件
G II	49件
G III	525件
対象外	24件
総計	609件

グレード	処置完了		処置未完了	
	正	誤	正	誤
G I	2件	3件	9件	8件
G II	38件		11件	
G III	418件		107件	
対象外	24件		0件	
総計	482件	483件	127件	126件

修正日:2020年11月20日

2019年度第4四半期不適合詳細（委員会確認日：2020年1月1日～2020年3月31日まで）
（不適合管理グレード I に関わる件名を抜粋）

G I グレード: 3件

No	件名	委員会 確認日	グレード
1	<p>【2号機タービン建屋北東エリアに貯留する滞留水水位上昇に伴う運転上の制限逸脱について】</p> <p>降雨の影響を確認するため、各建屋の水位トレンドを確認したところ、1月29日に、通常、水位計が露出しているエリアである2号機タービン建屋北東エリアの水位計(2-T4)の指示値が上昇していることを確認。 当該建屋との水位比較対象であるサブドレンピットの水位を確認したところ、タービン建屋北東エリアの水位が、近傍のサブドレン水位を165mm上回っており、実施計画で定める「2号機タービン建屋の滞留水水位が建屋近傍のサブドレン水の水位を超えない」を満足していないと判断した。 当該露出エリアに溜まった水については、2月3日に排水が完了し、近傍サブドレン水位との水位差比較を行い、問題がないことを確認できたことから、同日16時47分に、運転上の制限からの復帰を宣言した。 今後、対応を検討予定。</p>	2月5日	G I
2	<p>【2号機 原子炉建屋大物搬入口2階の片付け作業における顔面汚染について】</p> <p>2号機 原子炉建屋大物搬入口2階において、仮置品の片付作業を行っていた協力企業作業員が、免震重要棟にて作業後の汚染検査を行ったところ、鼻および口廻りに放射性物質の付着を確認。 そのため、入退域管理棟において鼻の中について汚染検査をしたところ、900cpmを検出。 除染を実施し、退出基準(4Bq/cm²(約600cpm))を下回ったことから、入退域管理棟から退域。 その後、ホールボディカウンタによる測定の結果、内部被ばく線量は記録レベル(2mSv)未満であった。 今後、原因を調査し、再発防止対策を検討。</p>	2月12日	G I
3	<p>【プロセス主建屋3階水中試験片の放射線劣化調査作業における顔面汚染について】</p> <p>プロセス主建屋3階において、水中試験片の放射線劣化調査作業を行っていた協力企業作業員が、企業棟休憩所にて作業後の汚染検査を行ったところ、鼻および口廻りに放射性物質の付着を確認。 そのため、入退域管理棟において鼻の中について汚染検査をしたところ、900cpmを検出。 除染を実施し、退出基準(4Bq/cm²(約600cpm))を下回ったことから、入退域管理棟から退域。 その後、ホールボディカウンタによる測定の結果、内部被ばく線量は記録レベル(2mSv)未満であった。 今後、原因を調査し、再発防止対策を検討。</p>	2月21日	G I